

実践記録

98

シリーズ

子ども体験教室と同時にジュニアリーダーを育成！

上越市立大島地区公民館 班長 小山 卓男

1. はじめに

大島地区公民館では、平成17年度から「ジュニアリーダー育成講座」として、高校生のリーダー育成を図っています。学校週5日制が始まった時期から取り組んでいる子どもの体験教室(年に7回ほど実施)に合わせ、ジュニアリーダー育成講座を実施することにより、子どもと一緒に活動するボランティアスタッフとして、活躍してもらおうという狙いで。現在、地元の高校生10人が登録しています。

2. スタートまでの道のり

参加できるときだけ参加してもらうのも良い方法とは思いますが、「ジュニアリーダーボランティア登録」を促し、実際に登録申込みがあった高校生に対して、ダイレクトメールでいろいろなお知らせをすることとしました。そのために、3年生が卒業式を迎える時期に地元中学校に出向き、生徒たちに体験活動の内容や先輩の活動を介绍する場を設けています。中学校の先生方の理解もあって、私たち職員が資料を持参し、教室でお話をしていますが、その場ですぐに興味を示す生徒も少なくありません。



カヌー体験教室

野外炊さん
薪づくり

3. 講座実施においての悩み

高校生がボランティアとして活躍してくれ、子どもと同じフィールドにしながら、自然と子どもたちへの接し方や集団生活においてのリーダーシップが身に付けば、と考えていました。最初に、「一緒になって遊びながらリーダーが生まれてくれれば」と甘い考えを持ってしまい、一生懸命参加を促さなかったのが苦勞の始まりでした。せっかく登録してくれているジュニアリーダーの高校生が、学校行事や部活動なども忙しく、まったく参加者がいないという状

況が続きました。

年度末にアンケートを実施したところ、目にとまったのが「参加したいが一緒に行く仲間がいない」という回答でした。次回からは、参加しやすい環境づくりの課題も見えました。

創作教室
門松づくり①創作教室
門松づくり②

4. ジュニアリーダー通信の発行

「ジュニアリーダーの活躍を紹介することで高校生のやる気を引き出そう。活躍ぶりを見た他の高校生の興味を引こう。高校生が通う学校の先生に、生徒の活躍を知ってもらおう。」こんな意味を込めて、ジュニアリーダーの活動や子ども体験教室を紹介する手作りの新聞を作ることになりました。その新聞は、中学校にも届けて先生と生徒全員に見てもらっています。地元の高校生が、地域の公民館事業にボランティアとして参加しているということは素晴らしいことだと、お褒めの言葉をいただきました。これを見た中学生が、次代のジュニアリーダーとなってくれることも期待しています。

5. その他の活動

上越市大島区の青年団は、さまざまなボランティア活動に取り組んでいます。その活動の一環で「子ども体験教室を手伝わせてほしい」と、公民館に話があり、昨年秋の子ども体験教室をお任せしました。何日も前から打合せを重ねながら準備を進め、当日は10人ほどの若者が集まり、野外炊さんやレクリエーションなどで子どもたちと活動しました。参加した子どもたちは、いつも以上に楽しそうに過ごしていました。青年団からは、今年も協力させてほしいと依頼を受けているので、ジュニアリーダーの育成とあわせて「若い力」に期待しているところです。